

連絡協議会用 試験概要説明

公益財団法人 日本英語検定協会

2015年3月17日

IELTS™

International English Language Testing System(アイエルツ)

1

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

ご説明の流れ

- ① 目的・内容・出題意図の概要
- ② 出題レベル(CEFRとの参照含む)
- ③ 学習指導要領(および「思考力・判断力・表現力」との対応関係
- ④ 中学・高等学校・大学・自治体等との連携による取組事例・概要
- ⑤ 今後の取り組み等

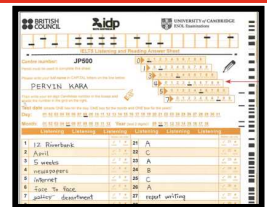
2

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

IELTSとは

International English Language Testing Systemの略で、海外留学や研修のために英語力を証明する際、およびイギリス、カナダ、オーストラリアなどへの海外移住申請をする際に最適なテストです。4技能を筆記試験と面接試験でバランスよく測定します。ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP:IELTS オーストラリアの3団体で共同運営されているため、中立的なテスト提供、徹底的な管理体制、試験問題の精査機能が保たれています。日本国内では、公益財団法人日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが2010年4月より共同で運営を行っています。

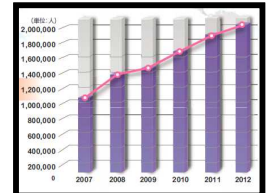
筆記試験
(LRW)



面接試験
(Sp)



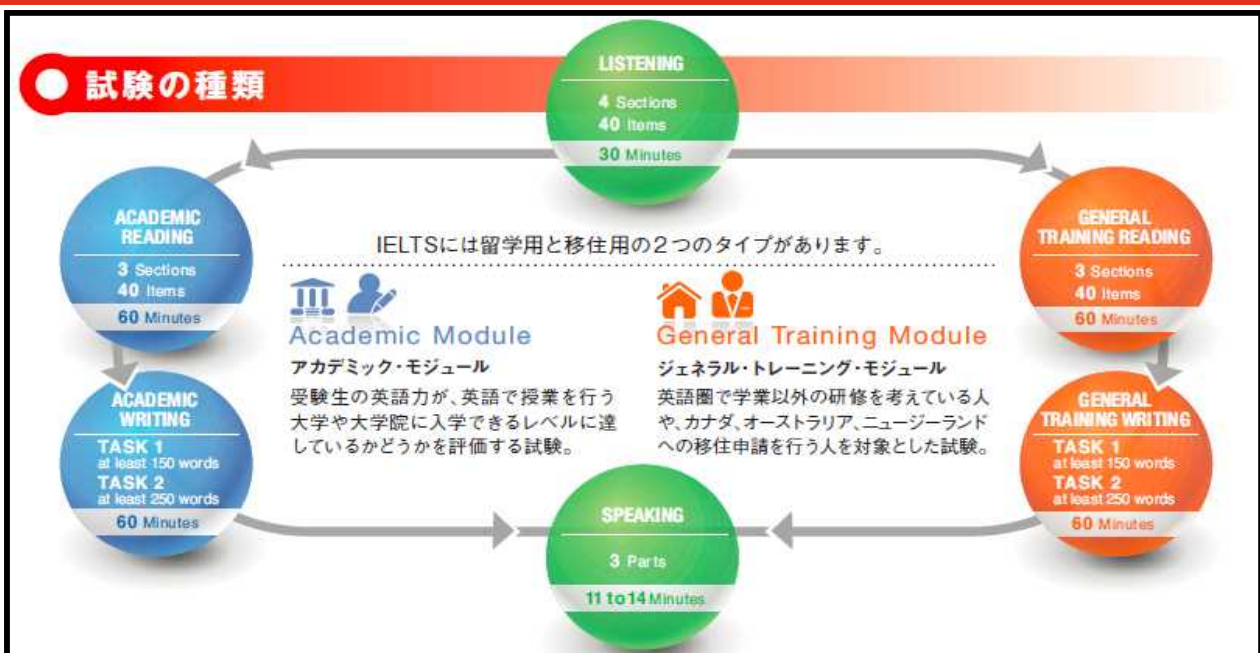
受験者数
220万名
(2013)



認定機関
135か国
9,000機関

学校	IELTSスコア
California Institute of Technology (Caltech)	7.0
University of Oxford	6.5-7.0
Harvard University	7.0
Massachusetts Institute of Technology (MIT)	6.0-7.5
Princeton University	7.0
University of Cambridge	6.5
University of California, Berkeley	6.0-7.5
University of Chicago	7.0

3



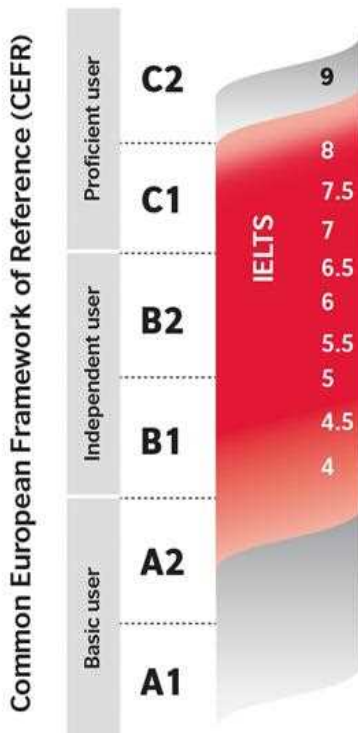
Test Results ※以下表示例 (各技能及び総合点を 0~9.0 のバンドスコアで表示)

Listening	6.5	Reading	8.0	Writing	6.5	Speaking	7.0	Overall Band Score	7.0
-----------	-----	---------	-----	---------	-----	----------	-----	--------------------	-----

4

<CEFRレベル>

<認定スコア目安>



Band	Linguistically demanding academic courses e.g. Medicine, Law, Linguistics, Journalism, Library Studies	Linguistically less demanding academic courses e.g. Agriculture, Pure Mathematics, Technology, Computer-based work, Telecommunications	Linguistically demanding training courses e.g. Air Traffic Control, Engineering, Pure/Applied Sciences, Industrial Safety	Linguistically less demanding training courses e.g. Animal Husbandry, Catering, Fire Services
9.0-7.5	Acceptable	Acceptable	Acceptable	Acceptable
7.0	Probably acceptable	Acceptable	Acceptable	Acceptable
6.5	English study needed	Probably acceptable	Acceptable	Acceptable
6.0	English study needed	English study needed	Probably acceptable	Acceptable
5.5	English study needed	English study needed	English study needed	Probably acceptable

※ 語彙レベルについては前述の〇〇ページ参照

5

IELTS™ ③学習指導要領(および「思考力・判断力・表現力」との対応関係-1

■思考力・判断力・表現力とは

「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」

第21 回高大接続特別部会配付資料
(平成26 年10 月24 日)より

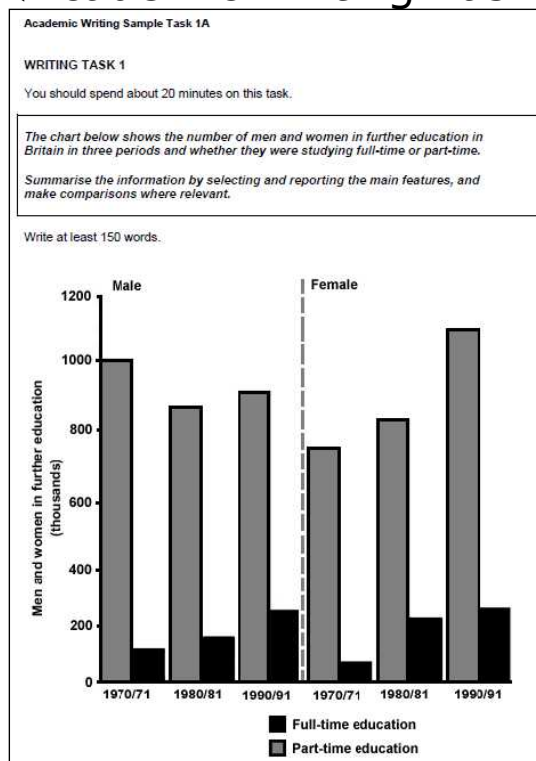
※ 「教科を超える思考力・判断力・表現力」としては、たとえば以下のような力が挙げられる

- ・ 言語に関する思考力・判断力・表現力(読解力、要約力、表現力、コミュニケーション力等を含む。)
- ・ 数に関する思考力・判断力・表現力(統計的思考力、論理的思考力、図やグラフを描いたり読んだりする力等を含む。)
- ・ 科学に関する思考力・判断力・表現力(モデルをつくらせて説明する力、計画を立てる力、抽象化する力、大ざっぱに推定する力等を含む。)
- ・ 社会に関する思考力・判断力・表現力(合理的思考力、歴史や社会の問題を特定し、議論の焦点を定める力、矛盾点をあらわにする力等を含む。)
- ・ 問題発見・解決力(答えのない問題に答えを見出す力、問題の構造を定義する力、問題解決の道筋を文脈に応じて定める力等を含む。)
- ・ 情報活用力(情報を収集する力、情報を整理する力、情報を表現する力、情報を的確に伝達する力等を含む。)

IELTSのタスクでは一般的・アカデミックなトピックに対する4技能にわたる英語の運用能力を問うだけでなく、図やグラフを論理的に説明する能力や受験者自身の知識を活用しながら論理的に意見を述べる・議論をする能力が求められることから、「思考力・判断力・表現力」を評価するテストと言える。

6

<Academic Writing Task 1>



グラフや図表の情報を読み取り
分析する能力や、情報を比べな
がら特徴を論理的に述べる能力
が求められる

7

<Academic Writing Task 2>

ACADEMIC WRITING SAMPLE TASK 2B

You should spend about 40 minutes on this task.

Write about the following topic:

The threat of nuclear weapons maintains world peace. Nuclear power provides cheap and clean energy.

The benefits of nuclear technology far outweigh the disadvantages.

To what extent do you agree or disagree?

Give reasons for your answer and include any relevant examples from your knowledge or experience.

Write at least 250 words.

“The threat of nuclear weapons maintains world peace. Nuclear power provides cheap and clean energy. The benefits of nuclear technology far outweigh the disadvantages.”という社会的な問いについて、自らの知識や経験に照らし合わせながら意見と根拠を筋道を立てて考え、明確に述べる能力が求められる

8

<Academic Reading>

Academic Reading sample task – Diagram label completion

[Note: This is an extract from an Academic Reading passage on the subject of dung beetles. The text preceding this extract gave some background facts about dung beetles, and went on to describe a decision to introduce non-native varieties to Australia.]

Introducing dung¹ beetles into a pasture is a simple process: approximately 1,500 beetles are released, a handful at a time, into fresh cow pats² in the cow pasture. The beetles immediately disappear beneath the pats digging and tunnelling and, if they successfully adapt to their new environment, soon become a permanent, self-sustaining part of the local ecology. In time they multiply and within three or four years the benefits to the pasture are obvious.

Dung beetles work from the inside of the pat so they are sheltered from predators such as birds and foxes. Most species burrow into the soil and bury dung in tunnels directly underneath the pats, which are hollowed out from within. Some large species originating from France excavate tunnels to a depth of approximately 30 cm below the dung pat. These beetles make sausage-shaped brood chambers along the tunnels. The shallowest tunnels belong to a much smaller Spanish species that buries dung in chambers that hang like fruit from the branches of a pear tree. South African beetles dig narrow tunnels of approximately 20 cm below the surface of the pat. Some surface-dwelling beetles, including a South African species, cut perfectly-shaped balls from the pat, which are rolled away and attached to the bases of plants.

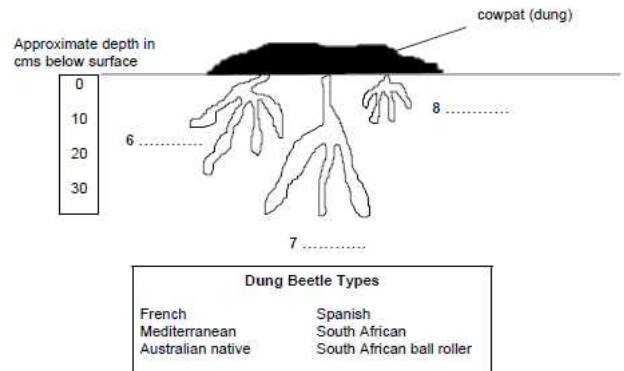
For maximum dung burial in spring, summer and autumn, farmers require a variety of species with overlapping periods of activity. In the cooler environments of the state of Victoria, the large French species (2.5 cms long), is matched with smaller (half this size), temperate-climate Spanish species. The former are slow to recover from the winter cold and produce only one or two generations of offspring from late spring until autumn. The latter, which multiply rapidly in early spring, produce two to five generations annually. The South African ball-rolling species, being a sub-tropical beetle, prefers the climate of northern and coastal New South Wales where it commonly works with the South African tunneling species. In warmer climates, many species are active for longer periods of the year.

Academic Reading sample task – Diagram label completion

Questions 6 – 8

Label the tunnels on the diagram below using words from the box.

Write your answers in boxes 6-8 on your answer sheet.



科学的な内容の英文を読解する能力と共に、情報を整理しながら図表を完成させる能力が求められる

9

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

IELTS で測定される英語力と学習指導要領で設定されている目標ならびに指導内容との関連性について

IELTS は現在世界でもっとも受験されている、英語の運用能力を測るテストです。

コミュニケーションに必要な 4 つのスキルをテストし、スキルごとの能力とともに、総合的な英語力も CEFR に根差した 9 段階のバンドスコア(*1)で評価します。 <http://takeielts.britishcouncil.org/choose>

IELTS のテスト設計は「実際に英語を使用する状況で、英語の運用能力を測定する」という考えに根差したものであり、この考えを実践するために紙と鉛筆での筆記試験と対面式のスピーキングテストを行っております。これは、現在日本の教育現場で行われているテストならびに授業形式と親和性が高く、日本人にとって実力を発揮しやすい形式だといえます。学習指導要領「コミュニケーション英語」の中に明記されている、「生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、言語活動を英語で行う。」という指針にも合致したものです。

この資料に関する問い合わせ先:

ブリティッシュ・カウンシル

試験部 部長 安田智恵

E-mail: chie.yasuda@britishcouncil.or.jp

Tel: 03-3235-1902(直通)

*この資料に含まれているデータは 2014 年 5 月現在のものです。

10

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

特別会場受験団体受験実績校

【国立大学】

東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、九州大学、千葉大学

お茶の水女子大学、埼玉大学、信州大学、金沢大学、広島大学、岡山大学、長崎大学、高知大学

【公立大学】

国際教養大学、首都大学東京、神戸市外国語大学、北九州市立大学、福岡女子大学

【私立大学】

早稲田大学、東京理科大学、国際基督教大学、学習院大学、明治大学、

青山学院大学、立教大学、津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学、

獨協大学、桜美林大学、神田外国語大学、東洋大学、大東文化大学、

杏林大学、創価大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、龍谷

大学、京都外国語大学、京都産業大学、関西外国語大学、

同志社女子大学、西南学院大学、立命館アジア太平洋大学、金沢星稜大学

【その他】

東京都教育庁、大阪グローバル塾、大学コンソーシアム京都、郁文館グローバル高等学校、

京都学園高等学校、日本外国語専門学校、ウィンチェスター頌栄

11

【全員留学全員受験】

立教大学異文化コミュニケーション学部

青山学院大学地球社会共生学部



立教大学

異文化コミュニケーション学部 マーティン・ロン 准教授

IELTSの全員受験で 学生のチャンスを広げたい

■全学生が3ヵ月から半年間の海外留学研修に参加

立教大学異文化コミュニケーション学部の教育の柱は、コミュニケーションツールとしての言語を習得し、異文化を学び理解することです。そして、言語運用能力の向上と異文化対応能力を養うことを目的に、原則的に全員が2年次秋学期に約3ヵ月から半年間の海外留学研修を経験します。

この海外留学研修における留学先選択にあたり、まず学生は英語圏または他の5つの言語圏の研修先を検討します。現状では約8割の学生が英語圏を選択します。研修先には、学部間や大学間の協定校で学ぶ「交換留学プログラム」、一定の語学力を持つ学生が参加できる「学部授業履修プログラム」、語学力の習得を主目的とした「語学プログラム」、企業などでの実地研修を含む「インターナショナル・キャリア・ディベロップメント・プログラム」などがあります。留学に向けて、1年次春学期からセミナーや授業を通して留学への意識を高め、1年次の12月に希望のプログラムに出席します。

なかでも学部授業履修やインターンシップを行うプログラムに参加する学生は、約3割にのびます。私たちは、できるだけ多くの学生に、これらのプログラムに参加、海外の大学でアカデミックな経験を積んでほしいと考えています。しかし、学部授業履修などのプログラムに参加するためには、IELTSなどの英語力を証明するものが必須であるため、スコアが低く参加を断念する学生も少なくありません。

■IELTSが学生の意識を高める

1年次の12月までに必要なスコアを取得するためには、早い段階から準備をすることが重要です。そこで、学生の意識を高め、チャンスを広げるため、本学部では

2013年度よりIELTSの全員受験を導入しました。立教大学では、年4回までIELTS受験料の一部を補助しています。本学部1年次の年1回の全員受験については、残りの受験料を学部が負担し、学生は無料で受験ができます。

初年度は9月に全員受験を実施したところ、IELTSの試験直前には、英語圏へ留学する多くの学生がまさに「やる気」が火がついた状態になりました。IELTSの受験をきっかけに、英語への意識が急速に高まったのです。一方で、1回の受験で目標スコアを取得できる学生は多くはなく、12月の出席を考えると、「9月では遅い」という課題も見えてきました。

そこで2014年度は、5月と9月の2回から受験回を選ぶようにしました。できれば5月にIELTSを受験して、自分の現在の英語力を知り、試験の形式に慣れてほしい。そして、12月の出席までに再度挑戦して、目標のスコアを取得してほしいと考えています。一人でも多くの学生が希望するプログラムで留学できるよう、今後も「chance」と「choice」を広げていきたいと思っています。



立教大学

アメリカ人宣教師のウィリアムズ主教が、1874年に東京・築地に開いた、聖書と英学を教える私塾「立教学校」を前身とする。1907年に立教大学と改称。開学以来、キリスト教精神と建学の精神「自由の学府」に基づく教育を行う。文・異文化コミュニケーション・経済・経営・理・社会・法・観光・コミュニケーション・現代心理の10学部を擁する総合大学。

立教大学 池袋キャンパス 住所 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

12

【語学力アセスメント(学部)】 東京大学、国際基督教大学

世界標準で有用性の高いIELTSを英語教育のひとつの指標に

東京大学 グローバル・コミュニケーション研究センター長
高田 康成 教授

「グローバル人材の育成」がますます叫ばれております。その掛け声の内容はともかくとして、いま日本の大学が英語教育の面でも岐路に立たされていることは確かです。これまでは「英語を」学ぶ授業が中心を占めてきましたが、今後は「英語で」各種の授業が行われる形態が中心にならねばなりません。そのためには大学入試も変革が必要であり、特にネイティブ・スピーカーが首をかしげるをえないタイプの受験英語は、一掃される必要があります。論理的な思考を基礎として、ライティングやスピーキングを身に付ける教育を確立していかなければならないのです。もちろん、このような変革に至るまでの英語教育の改善が前提であり、そのためには国を挙げて膨大な予算を投じよう意気ななければなりません。竹やり精神主義を繰り返してはいけません。

東京大学も時代の変化に即応すべく、英語教育を刷新してきました。ALESS/ALESAと呼ばれる論文作成や中核としたライティングの授業もそのひとつです。2013年度にはIELTSを導入し、新入生300名を対象に大学が受験料を負担して調査受験をしてもらいました。今年度は上記学生に加えて今年度の新入生300名をあわせて行い、本学の英語教育の改善に役立てようとしています。

IELTSは単に詰め込んだ知識で解くことではできません。記述式のテストでは、自分の意見を表現する力が求められます。対面式のスピーキングテストではコミュニケーション力を測ることができます。発信力を身に付ける英語教育が重視されていくに当たり、世界標準の試験であるIELTSへの信頼性と有用性は、今後さらに高まっていくと言えるのではないのでしょうか。



世界基準のIELTSで、受験者の可能性が広がる

かつて、IELTSは英国系の国へ留学する際の試験として認識されてきました。しかし、今や米国でもほとんどの大学で留学認定基準として採用されています。まさに、世界基準の英語運用力試験なのです。IELTSは技能をバランスよく測ることのできる試験であり、ペーパーベースの試験であることも、受験者にとっては大きなメリットと言えるでしょう。現在、本学では留学申請者の約半数がIELTSのスコアを提出しています。受験者は、慣れ親しんだ試験環境で受験することができますし、コンピューターのスキルに左右されず、純粋に英語力を測ることができるのです。

本学は文部科学省平成24年度「グローバル人材育成推進事業」に採択されました。現在ELA(English for Liberal Arts Program)というリベラルアーツを学ぶための英語力と、効果的に学ぶための思考力と技術を養うプログラムを必修としていますが、平成24年度よりこの事業の一環として、ELA終了時にIELTSの全員受験を課しました。

学生には、IELTSのスコアで目標達成度を測るだけでなく、海外留学への動機づけにしたいと期待しています。IELTSの受験をきっかけに、これまで以上に海外留学者数が増加し、世界を舞台に活躍する人材がより多く巣立つよう、本学ではグローバル人材の育成にさらに力を入れてまいります。

国際基督教大学 日比谷 潤子 学長



13

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

【語学力アセスメント(リーディング大学院)】 大阪大学、名古屋大学

大阪大学

国際教育交流センター

盧同 淳香 特任助教

近藤 佐知寿 教授

国際交流オフィス学生交流推進課 中島 花子 様

IELTSから広がる交換留学への可能性

留学の先を見据えたグローバル化を推進する大阪大学は、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。



2013年度は経済学部学生30名が、IELTSスコア6.0以上の取得者は、経済学部10.2%から、経済学部12.1%に上昇し、経済学部の留学の増加につながりました。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

大阪大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。



2013年度は経済学部学生30名が、IELTSスコア6.0以上の取得者は、経済学部10.2%から、経済学部12.1%に上昇し、経済学部の留学の増加につながりました。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学

国際教育交流センター 海外留学課

岩城 宗巳 教授

星野 晶成 特任講師

短期留学、IELTS受験を経て、長期の交換留学を目指す

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

名古屋大学では、国際教育交流センターを通じて、海外大学との連携を強化しています。留学する目的はさまざまですが、留学のプランを立てる際にIELTSが活用されています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。また、留学から帰国した学生は、海外での生活や、海外での学習の経験を活かして、海外での就職や、海外での起業など、さまざまな活躍の場を広げています。

14

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

【自治体】

おおさかグローバル塾(選抜された約40名の高校生が受験)

東京都教育庁(教員140名が海外研修前に受験)



おおさかグローバル塾

大阪府国際化戦略実行委員会事務局

志村 和哉 事務局長

吉村 圭次 次長

洲脇 未央子 プロジェクトリーダー

徹底した9カ月間の学びで
英語力が伸び、意識が変わる

■大阪の高校生の海外留学を支援

大阪府と公益財団法人 大阪府国際交流財団は、2011年に「大阪府国際化戦略アクションプログラム」を策定しました。「おおさかグローバル塾」はその一環で、大阪在住もしくは在学の高校生の海外留学を支援する取り組みです。

塾生は3カ月以上の長期留学を目指す生徒が対象です。IELTS 4.0、英検2級などの出願基準を設け、書類選考と筆記試験、面接を経て、塾生を選抜します。塾生は4月から12月の9カ月間にわたり、英語による特別授業を受けます。4月から7月は「短期留学準備講座」で、英語により日本や世界の歴史文化、時事問題、プレゼンテーションスキルを学びます。そして、夏休み期間に2週間、アメリカもしくはイギリスへの「短期留学」を経験します。さらに、9月から12月は、「長期留学準備講座」が開かれます。

■短期留学をきっかけに長期留学へ

留学国は塾生の希望により選択します。イギリス留学には、IELTSの受験が必須です。長い歴史と伝統に彩られ、しかも先進的な研究も盛んなイギリスへの留学は、日本では経験できない学びが待ち受けています。短期留学を経て、さらに学問を究めたいと、イギリスの大学への進学を決めた塾生もいます。

■留学をきっかけに進路選択の目的意識が明確に

短期留学から帰国後は、11月のIELTS受験に向けて勉強に熱が入ります。

塾生たちはお互いに刺激を与え合い、英語力を飛躍的に伸ばしています。IELTSスコアは7.0や7.5に到達する塾生もいるほどです。また、留学や大学選びへの目的意識が明確になり、自分が将来何をしたいのか、そのためにどんな進路を選び、何を学ぶのかを考えるようになっていきます。

現在、Facebook上におおさかグローバル塾のページを設置し、塾生たちのコミュニケーションに活用しています。既に同窓会組織も結成され、卒業生は後輩のサポートを行っています。私どもの活動が反響を呼んで、同様の取り組みが他県でも始まっていると伺っています。こうした取り組みが全国へと広がることで、日本における真のグローバル化が進んでいくことを願っています。



おおさかグローバル塾

大阪在住もしくは在学の高校生を対象とする大阪府国際化戦略実行委員会(大阪府・公益財団法人 大阪府国際交流財団共同設置)による海外留学支援プロジェクト。アメリカやイギリスへの短期留学を含む特別授業を4月から12月の9カ月間にわたって実施。大阪の国際化に貢献できる、将来のグローバル人材の育成を目的としている。短期留学準備講座、短期留学、長期留学準備講座の3段階で授業を実施。

おおさかグローバル塾 大阪府国際化戦略実行委員会
住所：〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-5 マイドームおおさか 6階

15

【グローバルを牽引する大学における入試要件化】

現在、全国約50大学にて採択。

【平成28年度東京大学推薦入試】

資格・検定試験の成績を配慮に入れる9学部全てにIELTS記載有

【平成27年度国際基督教大学一般入試B方式】

英語は二つの資格・検定試験のみ。

IELTS 6.5が合格最低点。

【平成27年度の国家公務員総合職試験】

IELTS 5.5以上で英語試験加点

16

公開会場・特別会場 実施回数と予測

2014年度実
施回数

年間220回

※1月平均18回実施

※東京会場は、月3回実施※

公開:137回、特別:83回

検 定 料

25,380円

受験者数、用途に応じて引き下
げ検討

※教員割引制度(20,000円)実施中



17

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

お問い合わせ

英検

後援:文部科学省

TEL: 03-3266-6560

<http://www.eiken.or.jp/eiken/>

TEAP
Test of English for Academic Purposes

TEL: 03-3266-6556

<http://www.eiken.or.jp/teap/>

IELTS™

TEL: 03-3266-6121

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

18

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved